

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2023年6月9日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒141-8643
東京都品川区大崎一丁目11番2号
株式会社ローソン
(代表者名) 代表取締役 竹増 貞信

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施

報告書を提出します。

報告期間		2022年4月1日～2023年3月31日				
事業の規模	従業員数	115	人	原油換算した	10089.2	kl
	使用床面積	46571.3	m ²	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	260	事業所	自動車使用台数	69	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC	t-CO ₂
23300		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	
	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃	t-CO ₂	
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	
報告書の担当部署		担当部署名				
		担当者氏名				
		電話/FAX				
		電子メールアドレス				
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)			<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項	
計画期間		2021年4月1日～2024年3月31日				
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり				
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2021年 4月 1日～ 2024年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
エネルギー原単位	57.787	3	56.589	2	△	52.758	9	○			
	億円	%	億円	%		億円	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
 2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
 ○：目標削減率を達成
 △：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
 ×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
エネルギー原単位	○	原単位の母数である売上の拡大となったため。